

実施年度	実施主体	対象獣種
R 8 ～ R 9	加茂市鳥獣被害防止対策協議会	シカ、イノシシ

現状・課題

猟銃免許及び銃所持許可者は比較的多いものの、罠免許の所持者は少なく、受動的な捕獲に依存しているため、捕獲頭数は伸びていない状況にある。一方、イノシシやシカによる農作物被害や畦などの農地施設の掘り返しは増加傾向にあり、今後さらに被害が深刻化することが懸念される。

事業概要

ICT機器と豊富な人的資源を活かしたスマート捕獲を推進するため、センサーカメラやドローンを活用し、

- ・イノシシの寝床等を含めた生息状況調査、
- ・GIS上での生息分布の可視化、個体密度の高い地域の選定、
- ・選定地域への戦略的なわなの設置（くくりわな、箱わな）、
- ・冬期のドローンを活用した効率的な巻き狩り（銃猟捕獲者の参加促進）を実施。

活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・センサーカメラ
- ・ドローン（赤外線カメラ及びスピーカー付き）

モデル地区の普及範囲

県内外を問わず普及活動を実施（R 8 ～ R 9）

【イメージ】

